

2019～2020 年度 第 1 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録				
開催日時	令和元年 11 月 27 日（水）		会 場	鎌倉芸術館 集会室
出席者	会 長	白井勇		
	副 会 長	福田亮一 西倉哲夫 小澤勝美（横浜支部長） 大和田優 小林幸一 山口英生(欠)		
	専 務 理 事	酒井弘幸		
	委 員 長	谷田康司（座間支部長代理）		
	副 委 員 長	平野武洋（横須賀支部長代理） 高澤智		
	委 員	坂本昌己 寺本勉(欠) 岩田崇 石原貴司 新倉良一 矢後孝昭 吉田雅幸（相模原支部長）(欠) 渡部雅行（県西支部長）		
	支 部	柏木健司（川崎支部長） 小泉厚（横須賀支部長）(欠) 磯昭弘（湘南三浦支部長） 三村邦彦（藤沢支部長） 森安啓司（鎌倉支部長） 数田亨（茅ヶ崎寒川支部長） 黒部光司（平塚支部長） 小泉学（秦野支部長）(欠) 内田幸夫（伊勢原支部長）(欠) 小幡剛志（大和綾瀬支部長） 奈良直史（厚木支部長） 伊藤耕人（座間支部長）(欠) 葛野耕司（海老名支部長） 中山裕次（愛川支部長） 新村玲子（相模原支部長代理）		
	湘南ブロック	清田鈴美子（鎌倉副支部長） 矢澤正明（鎌倉副支部長） 梅沢典雄（鎌倉支部）		
	事 務 局	久保田千尋		
	○小林副会長挨拶 ○谷田委員長挨拶 ○平野副委員長進行			
	・小林副会長より 追加資料の説明 組織変更趣旨、本会と支部について、ブロック支部委員会とは			
	議題			
	(1) ブロックおよび支部間の事業および交流状況について			
	(しごと展・講習会等)			
・横浜支部：しごと展を各支部で行った。横浜支部のしごと展では、他支部にも協力頂いた。景観・まちづくり特別委員会主催のまちあるきでは、開催場所の支部にご協力いただいている。				
・相模原支部：相模原支部で講習会を実施した。その際、近隣支部にも参加ご協力を頂いた。台風 19 号 建築相談会を市が実施した際、支部が対応したが、対応しきれない部分は他支部や指導委員会に協力頂く。				
・海老名支部：耐震相談を行っている。商工会フェアに参加している。（今年は台風で中止）支部運営は円滑である。				
・茅ヶ崎寒川支部：しごと展は入会希望者も興味を持っていたので、開催について検討してもよい。				
・湘南三浦支部：湘南三浦支部は、30 周年を迎えた。テーマを設けた企画展（しごと展）を企画中。8 月実施の研修会では、湘南三浦地域の事務所協会会員だけでなく、非会員事務所との接点を設けるべく、参加招待した。会員増強については、前期理事の際にも毎回理事会で議題として出ていた。ソフト部分で顔見知りとなれば、将来的に会員増やせるのではと期待している。				
(災害対策等)				
・大和綾瀬支部：ブロック間で交流あり。ブロック全体で行政まわり実施。応急危険度判定の依頼が大和市から有り。名簿の取扱はどのようになっているか？ 本会のどこが意見を吸い上げて揉んでいく				

のか？

- ・ 酒井専務：応急危険度判定については、県が中心となり動いている。具体的な動きがこれまでなかったところ、本格化すべく動いている。災害時の動きが重要。どのように動くか具体的に出来ることを仕組みとして作っていきたい。
応急危険度判定については、原則市町村が中心となり動くものなので、直接支部に依頼が行くこととなっている。
- ・ 藤沢支部：藤沢支部は他協会と応急危険度判定の協定締結済である。
- ・ 県西支部：県西支部は、小田原市と湯河原町、県と小田原市とで協定締結している。
県西支部は2市8町あるため、広範。小田原市中心に動いている。
協定の動きは、県を中心とし、市が動いている。

県と市の協議会より応急危険度判定登録名簿を頂いたが、古い名簿なので辞めた人が多く記載されていた。そのため、最新版を支部で作成し、提出した。
行政が最新の情報を持っているのか、確認が必要。

一番やらないといけないことは、所属市町村長に名簿確認をすること、名簿を活かせる連絡網作りをすることである。
現況は、判定士不足なので、建築物の判定の無料講習会の受講者を募っている。

- ・ 平塚支部：平塚市と災害対策協定を結び、緊急時の体制作りをしている。応急危険度以外のものもある。耐震診断・建築相談は、建設組合や土地家屋調査士会等と共同開催し、他団体と連携している。
- ・ 茅ヶ崎寒川支部：応急危険度判定については、具体的に活動なし。問い合わせは市よりあり。
- ・ 湘南三浦支部：応急危険度判定については、横須賀ブロックとして、横須賀支部と共同で動いている。

(支部長合同ブロック支部委員会と支部長会の相違点)

- ・ 支部長合同ブロック支部委員会は、支部より推薦された支部長や支部会員で構成されたブロック支部委員会が中心となり実施する。支部の役員をお招きし、支部の活動情報交換等を行い、活動を理解して頂く
- ・ 支部長会は、会長が招集し行う。主に政研や総会前に実施される。

(支部長合同ブロック支部委員会について意見)

- ・ 全国大会やスポーツ大会等のイベントの前に行うと意義があるのでは？
- ・ 今回の委員会の内容が、今後どのように反映されていくのか、見えない。本来は、意見交換を行うべく、開催しているのではないかと方向性を決めないと、話し合いの事柄が発展していかない。短いスパンで開催が必要ではないか？
- ・ 支部長合同スケジュールを早めに決定頂きたい。都度趣旨の説明をしてほしい。事前に質問受付をしっかりとしてほしい。当日は、事前に集めた内容をもとに意見交換の時間としたい。

⇒運営方法をブロック支部委員会で検討する。

(本会への要望について)

- ・ 大和綾瀬支部：本会から情報を下ろしてほしい
- ・ 厚木支部：実務的な部分の情報については伝わってこない。どのようになっているのか？
→情報伝達の仕組み その後の運用、動き方 方法まで教えてほしい

(2) 本会への要望

○会長および副会長出席

○白井会長挨拶

支部長会の開催趣旨説明および災害対策への協力要請

(相模原支部より)

- ・ 会員数減少が原因でもあるが、委員会等へ動ける人員が少ない。組織をスリムに出来ないか。

⇒会長：常設は従前通りで変更はない。役に立つ会を目指し、委員会を策定した。1年かけて集約し、必要な部分を残していきたい。また、若手や、入会間もない方にうまくお声がけ頂き、委員会に出てもらうよう、お願いして頂きたい。

- ・ 若手や、入会間もない方に声がけをしているが、現実として賛同頂けない場合もある。

(藤沢支部より)

- ・ 支部長合同ブロック支部委員会の開催主旨について、3月にも同様な意見を出したが、改めて説明頂きたい。また、支部長合同の開催時期を明示してほしい。

⇒会長：支部長合同の意義については紙で出してお伝えが必要だった。支部長連絡会議は10年くらい以前より、支部長のみ参加・支部長が幹事で行っていた。理事会では全支部より役員が出ている訳ではないため、情報伝達不足があり、意見調整が必要なため。以前は年4回、2年間で全ブロックにおいて持ち回り開催していた。

意見の吸い上げや意見交換に繋げるには、支部長のみで行う必要もあるのでは。

- ・ スポーツ大会の開催について、直近のスポーツ大会のうち3/5回ボウリング大会なのは、なぜか。決定の方法を知りたい。

⇒谷田委員長：スポーツ大会は、担当ブロックで日程・種目等の検討を行い、案を策定します。ブロック支部委員会はその案について、運営上の検討・修正を行い担当ブロックに伝え決定します。担当ブロックに一任している以上ブロックで策定したことは、極力尊重すべきと考えています。

⇒会長：かつて総財務委員会でソフトボール大会を開催していた。その後、ブロック支部委員会が担当となった。各ブロックで持ち回りとなり、そのなかで色々な競技をすることとなった。地域の特色を活かし、工夫のなかで行ってほしい。積極的な親睦を図りたいので、若手を引き込む機会にしてほしい。

(委員会等について)

- ・ 鎌倉支部：本会の活動には出ているが、支部会議には出ない会員もいる。委員会で、支部に報告するよう、必ず伝えてほしい。

⇒会長：支部に伝える、議事録が支部へわたるよう、改めて周知依頼をする。

- ・ 厚木支部：支部総会後に本会の総会がある。本会の総会後に委員会が決定し、人員依頼があっても、支部内承認の関係から手配は難しい。内々でも良いので事前に伝えてほしい

⇒会長：次回以降はないようにする。

(かながわ建築事務所協会一級建築士事務所について)

- ・ 福田副会長より、現在の状況について説明があった。

(緊急時連絡網)

- ・ 会長より、改めて作成中の旨が示された。今後支部への依頼および支部での作成の可能性が示唆された。

(台風対応について)

- ・ 川崎支部より、川崎での台風対応について説明された。
多摩川の被害が大きく、10月30日に相談業務の打診があり、11月3日より実施。急なことなので、
人員配置に苦勞。40事務所ほどが相談業務に参加した。
- ・ 台風19号対応について、酒井専務理事より資料配布と説明がなされた。

(その他)

- ・ 配布資料について、再度周知された。

以上